

このような教員や児童生徒の姿が生まれました!

- 児童生徒向けに操作方法を紹介する放送ですが、教員にも「役に立つ。」と評判です。
- 「こんな使い方もある。」と教員同士、教員と児童生徒で交流が生まれました。

### 給食時間の放送で「プチ研修」

ICT 活用推進担当が、給食時間の放送で、児童生徒向けに端末の使用方法について解説する。この中で、教員も新たな使用方法に気付いたり、授業の中で活用したりする。

- ・ ICT 活用推進担当が、児童生徒向けに端末の操作方法の解説をする。
- ・ 教員も、放送を聞き、児童生徒とともに端末の操作方法を理解するとともに、その後の授業で活用することで研修の成果を発揮する。
- ・ 教員と生徒、また教員同士で研修の内容について、話をする機会も増え、研修の効果が高まる。



### 「プチ研修」を行う際のポイント

- 研修後の教員同士の交流、教員と児童生徒の交流などで研修の効果を高める。

### 「プチ研修」による効果



「教員同士」、「教員と児童生徒」の間で使い方の交流が生まれ、操作方法のスキルが向上する。

- ・ 写真撮影の仕方、データの送信など基礎的なことから始め、意見や考えを整理するためのツールなど授業で活用できる操作方法を解説する。
- ・ 教員と児童生徒が同じ内容の研修を受けることで、教員同士、または教員と児童生徒の交流が生まれ、その後の授業で活用した際に児童生徒の反応がよくなる。

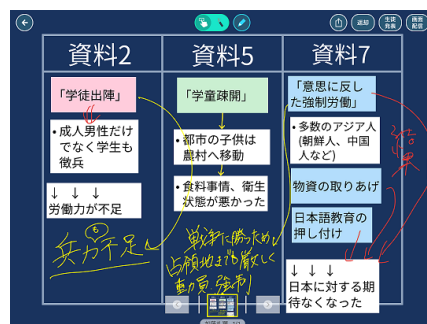
新たな発見、効果的な方法について、プチ交流で深める。

- ・ 研修で学んだことを授業で実践し、職員室の何気ない会話の中で、その効果やさらに効果的な方法について交流する。

【左上】公式などの資料を生徒端末に送信。その資料に自分の考えを書き込み保存。

【右上】写真をもとにワークシートに観察記録を記入。

【右】自分の考えをシートの中に整理。仲間の考えをもとに新たな発見を黄色で書き込む。



### ICT活用推進担当の指導のポイント

- 児童生徒向け研修という立場で、一緒に聞いてくださっている教員に向けても研修をしている。教員同士だけでなく、児童生徒と教員の交流も生まれ、その後の授業で実際に扱った際に、児童生徒の反応がよくなる。